

家畜衛生広報



ながの

H25-5

平成26年(2014)年1月1日

長野家畜保健衛生所
北信家畜畜産物衛生指導協会
〒380-0944 長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923 Facs. 026-227-2665
E-mail:nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

**新年明けましておめでとうございます。
本年も宜しく願いします。**

年頭のごあいさつ : 所長 唐沢正信

皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を顧みますと、プロスキーヤーの三浦雄一郎さんがエベレストに史上最高齢で登頂成功、富士山のユネスコ世界遺産登録、2020年の東京五輪開催決定等の明るいニュースがありました。ソチ五輪を間近に控えた午年の本年も、明るい話題につまれた良い年となることを期待しております。

さて、家畜の伝染病の関係ですが、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザについては、現在までのところ国内においては概ね平穏に推移しています。しかしながら、近隣諸国では両疾病が続発しており、韓国では昨年11月に豚コレラの発生が確認され、日本への侵入を防止するためにも、更なる防疫対策の強化が必要な状況に変わりはありません。畜産農家の皆さんにおかれましては、家畜・家きんの健康観察、畜舎消毒、農場立入者の制限、野鳥やネズミ等野生動物の侵入防止のため防鳥ネットなどの点検等の徹底を切にお願いするとともに、異常が発見された場合の家保、担当獣医師への通報等についても御配慮をお願いします。

終わりに、今年1年が皆様にとって実りある年となり、健康で御活躍されることと、家畜防疫にとって平穏な年であることを祈念申し上げます。当所といたしましても、所員一丸となって皆様とともに畜産振興と家畜衛生の向上に取り組んで参りますので、本年もどうぞ宜しく願い申し上げます。



しあわせ  信州

掘り起こそう、足元の価値。
伝えよう、信州から世界へ。



◆◆◆平成25年 北信畜産10大ニュース◆◆◆

平成25年は凍霜害に始まり、夏の干ばつや、集中豪雨、台風の度重なる襲来等気象による農家への影響が大きい1年でした。この1年を振りかえり（家保の独断と偏見で）北信地方の畜産10大ニュースを月を追って選んでみました。皆さんにはいったいどのような1年だったのでしょうか。

I.管内2氏が県知事から食肉生産の「匠(たくみ)」に認定。知事は卓越した技術を評価。(2月)

高山村の肉用牛生産者、山崎さん、黒岩さんのお二人が食肉生産の「匠」である「信州食肉マイスター」に認定。2月の式典で長野県中村農政部長から県知事の認定書が手渡されました。

II.肉用鶏で全国初の快挙。信州の「お・も・て・な・し」食材信州黄金シャモも大拍手。(3月)

須坂市で信州黄金シャモを飼育している草笛農園が、肉用鶏農場としては全国第1号となる農場HACCP推進農場に指定。現在、農場・関係者一丸となり認証取得に向け情熱の炎を燃やしています。

III.乳質向上プロジェクト推進。おいしい牛乳たくさん飲んで「倍返し？」だ！！(5月、10月)

消費者の皆様にもっとおいしい牛乳を提供するため、北信地方の酪農家と関係者のプロジェクトがフル稼働。搾乳技術の入念なチェック、衛生管理の再徹底等により、一段と乳質を向上させました。

IV.シンポジウム開催。今後の畜産の生命線、農場HACCP導入に農家の意識高まる。(7月)

農場HACCP審査員の二村先生((株)アスコ)などによる御講演と県内農場HACCP導入生産者の事例発表によるシンポジウムを開催。農場HACCPに対する理解を深める絶好の機会となりました。

V.もう一つ乳質の話題。県の高品質生乳ランキングで管内酪農家がワンツーフィニッシュ(8月)

平成24年度の長野県乳質改善共励会が開催。年間出荷乳量300t以上の部で、県内120戸の対象酪農家の中から、信濃町の土屋牧場さんと禰津牧場さんが1位と2位を独占しました。

VI.鳥インフルエンザ対応実地研修・防疫演習を実施。万が一の場合の防疫対応を確認(8月)

県農業大学校を会場に採血実習などインフルエンザ防疫に必要な実地研修を実施。22日には長野地事・北信地事との合同防疫演習で、市町村の皆様とともに初動対応を確認し防疫体制を強化しました。

VII.管内の名牛、県知事がスペシャル繁殖牛に認定。貴重な遺伝資源として活躍に期待。(9月)

育種価が高く遺伝的能力の優れた雌和牛である「スペシャル繁殖牛」に、本年は新たに須坂市と高山村で3頭が認定。昨年と合わせ管内で8頭の認定となりました。県知事も認める最上級の能力が受精卵移植技術等で活用され、優良和子牛増産と県産和牛の一層の品質向上に期待が高まります。

VIII.晴天の静岡、中部日本10県の乳牛共進会。管内出品牛の美形に富士山もウットリ。(11月)

静岡県御殿場市で、5年に1度の中部日本ホルスタイン共進会が開催。抜けるような青空のもと、第8部経産で高山村前田牧場からの出品牛がベストプロダクション賞を受賞されました。超美形。

IX.いつ食べるの。「今でしょ」！！「りんご和牛信州牛」牛枝肉共進会で7生牛連発。(11月)

信州牛生産販売協議会主催枝肉共進会が開催。出品肉専種去・雌計35点中、実に80%の28頭が信州プレミアム牛に認定という強豪揃いの中で、中野市奥信濃畜産の出品牛が県知事賞の栄冠。

X.県畜産共進会で管内出品牛二頭が県知事賞の栄誉。本県産和牛、関西で高評価。(12月)

12月3日に大阪南港市場で第66回長野県畜産共進会が開催。48頭の県下選りすぐりの和牛の中から、県内産部門で高山村の山崎さん、県外産部門で栄村の樋口さんそれぞれの出品牛が県知事賞に輝きました。全体の4等級以上比率はまさかの93.8%、県産のレベルの高さを見せつけました。

踏み込み消毒槽は伝染病予防の第一歩
まずは踏み込み消毒槽を畜舎に置きましょう